

日常・緊急時活用 地域における面的なみまもりを実現

技術/サービス概要

実現する地域社会のイメージ

- ・Wi-Fiセンシングを活用して、プライバシーに配慮した形で、地域における面的な新しいみまもり体制を構築
- ・24時間365日見える化により、孤独死の放置や、民生委員等の担い手不足等の課題に対応して、自治体や地域関係者の負担を軽減
- ・また、高齢者本人と離れて暮らす家族の安心や結（つながり）を深めることに貢献
- ・家族や地域関係者、行政等の負担を軽減して、高齢者本人が住み慣れた地域にいつまでも元気で笑顔に満ちた暮らしができる社会を実現

2021年～沖縄県14市町村協定 / 大規模社会実証・事業・ヒアリングからわかった
高齢化に伴う国・自治体・地域関係者のお困りごと / 課題

- 課題01 高齢化推移スピードを上回る財政出資増
- 課題02 既存施策は、担い手不足&“老老型”で限界
- 課題03 「孤独死」放置。「自治体対応義務なし」困難
- 課題04 「個別避難計画」市町村整備努力義務の遅れ
- 課題05 「2040年問題」= 既存公的サービス体制崩壊



技術/サービス情報

サービス分野（大）	福祉
サービス分野（小）	遠隔見守り
サービス購入者	自治体、島民
サービスの概要	Wi-Fiセンシング機器を高齢者全世帯に設置して、24時間365日「見える化」することにより、家族や地域関係者、行政等のみまもり等に係る負担を軽減可能にする、地域における面的な新しいみまもり体制を構築
サービス利用（受益）者	自治体、島民等

サービスにより期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・日常のみまもりを面的に整備し、高齢者をみまもる仕組み ・「孤独死・孤立死」可能性をいち早く判定し、放置を防ぐ ・常時・非常時（災害）活用フェーズフリーのみまもり ・自治体負担や共助の担い手不足をICTで補完
サービスの特性・優位性	<ul style="list-style-type: none"> ・プライバシーに配慮した形で、高精度な検知が可能 ・世界標準ITのため、安価にて機器の提供等が可能 ・非常時の在不在確認が可能
対応可能な地理特性	・インターネット通信環境（光、移動体）がある地域

日常・緊急時活用 地域における面的なみまもりを実現

小規模／大規模

福祉

税別価格（参考） 「みまもりサービス」にはインターネット通信料を含まない。必要に応じて、弊社にてルーターと通信用SIMを用意し、インターネット通信環境を整備することが可能（通信用SIM3GB/300～500円、ルーター本体別途） 月額ランニング費用は、規模により要相談	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>イニシャル</th> <th>ランニング (月額)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>みまもりサービス</td> <td>9,800円</td> <td>500円</td> </tr> <tr> <td>初期登録費等</td> <td>9,260円</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>19,060円</td> <td>500円</td> </tr> </tbody> </table>		イニシャル	ランニング (月額)	みまもりサービス	9,800円	500円	初期登録費等	9,260円	—	計	19,060円	500円
		イニシャル	ランニング (月額)										
みまもりサービス	9,800円	500円											
初期登録費等	9,260円	—											
計	19,060円	500円											
	※上記金額は、1名あたりの単価。機器設置はDIYを想定。現地設置工事が必要な場合は別途費用発生。												
無料トライアルの有無	要相談 ※有償POCは随時受付。												
購入までの所要期間（参考）	1年程度（自治体向け事業を行う場合の所要期間であり、予算確保に向けた調整等も含む）												
その他（補足事項及び注意事項）	<ul style="list-style-type: none"> みまもり体制構築の中で、緊急時連絡網のデジタル背骨を行うため、個別避難計画への応用への期待大 更にセンサーによる日常のみまもりのみならず、災害時等非常時の在不在確認も可能なため、同じシステムで使える幅が広いのが特徴 												

サポート体制 および関係者 (導入時・導入後)	【自治体】 予算化 → 【事業者】 面的整備・アプリ操作支援等			
	 高齢者等	 家族等	 共助 自治会・民生委員	 公助 包括・社協
【日常時】	専用アプリで家族が見守る	—	—	—
【緊急時】	一定時間活動検知無しの場合、アラート自動発報。	家族等による現地確認が難しい場合のみ連携・支援	家族等による現地確認が難しい場合のみ連携・支援	家族等による現地確認が難しい場合のみ連携・支援

企業情報	
事業者名	株式会社おきでんCplusC
所在地	沖縄県浦添市牧港5丁目2番1号 沖縄電力構内 別館5階
設立年	2021年
URL	https://www.cplusc.co.jp/
問い合わせ先	TEL : 098-870-9610 MAIL : infoform@cplusc.co.jp

日常・緊急時活用 地域における面的なみまもりを実現

小規模／大規模

福祉

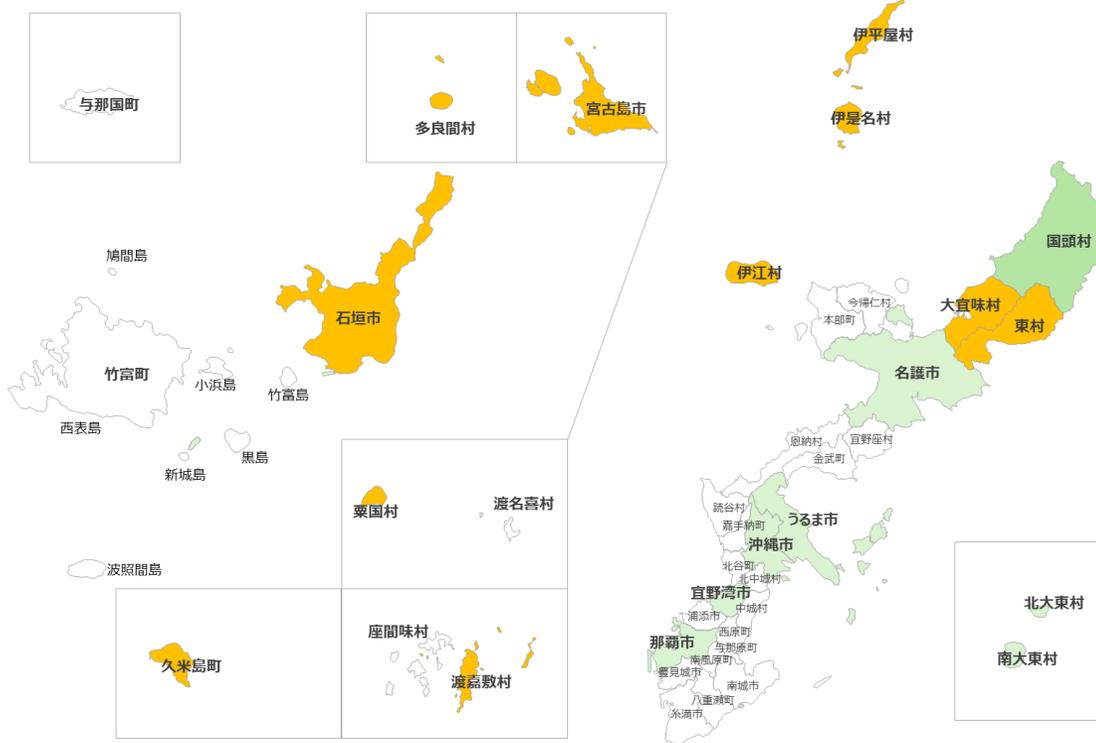
技術/サービスの導入実績

離島での導入事例

伊平屋島、伊是名島、伊江島、粟国島、渡嘉敷島、久米島、宮古島、多良間島、石垣島

（人口） -

・沖縄本島内の5自治体でもサービス提供および実証中



導入自治体・利用者からの声

- ・令和5年度沖縄県離島・過疎地域づくりDX促進事業における自治体・地域関係者向けアンケートにおいて、「大変満足31%」「満足46%」「普通23%」であり、7割以上から満足の評価。「不満」の回答はなし。
- ・自治体参加の背景については、「高齢者みまもり等の業務負担増加」、「高齢者の孤独死発生に対する不安」、「地域における急速な高齢化」、「地域で暮らす高齢者・家族からの不安の声」等が挙がる。
- ・また、実施後の感想については、「導入の手間が少ない」、「高齢者本人や家族からの安心したとの声あり」、「事業運営が良好」等、満足の声が多数。
- ・日常の高齢者みまもりの仕組みが、非常時（災害時等）にも活用できることから、目的別に複数のシステム導入の必要がなくなった。機器等が安価なため、面的な整備が可能。更に、自助主体のみまもり体制構築がコンセプトのため、公的負担軽減への期待が非常に大きい。

離島での導入実績（全国での実績）

9自治体（0自治体）